

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

福島学院大学実施報告書



実施主体 こども学科細川ゼミナール

実施内容 令和4年11月宮代キャンパス

①事前に取り組んだ内容

ゼミナールの中で子どもの虐待・権利とは何かを改めて考え、今の私達、学生という立場から何を伝えられるか話し合いを行った。それを元に、虐待に関するテーマを子どもと共に考えられるカードを作成した。

また、子ども自身が虐待に対して関心を向けられるような絵本の選定や、CAP研修にも参加した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボンについての周知と理解を得るために、主に3つのことを行った。

- 1, オレンジリボンに関するホームページを作成し、アクセスするためのQRコードをキャンパス内に掲示し周知を図った。
- 2, 子どもの虐待について、学生へ講義を行った。
- 3, オレンジリボンを制作し学生へ配布した。

③オレンジリボン運動を終えて…

授業を通して児童虐待に対する知識があるつもりであったが、実際に活動を行ってみると、子ども自身が気づき、助けを求める方法を大人が伝えることの重要性に気がつくきました。改めて、子どもの最善の利益について考える機会となりました。

オレンジリボンを配布し、このリボンが様々な方に広まることで、子どもを社会全体で守れるのではと感じたと同時に、1度伝えただけでは関心を向けたり、理解は広まらないことも実感し活動を重ねていきたいと強く思いました。



【福島学院大学 こども学科 細川ゼミナール】